## JC20 Rec'd PCT/PTO 19 APR 2005

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. 1-114328 published on August 1, 1989

Application No.:

63-9922

Date of filing:

January 28, 1988

Applicant:

Hino Motors Ltd.

Inventor:

Masayoshi SAITO

Title of the Invention:

APPARATUS FOR CONTROLLING SPEED CHANGE

OF MECHANICAL AUTOMATIC TRANSMISSION

Abstract:

When a vehicle is stopped, a clutch is disconnected and a transmission is shifted to its neutral position. When stepping-down of a brake pedal is released after a complete stop of a vehicle, the transmission is shifted to be in a start-gear stage to prepare for the vehicle restart. The clutch is connected in accordance with depression of an accelerator pedal to thereby shorten the operation time for the speed change, at the moment of vehicle restart, and to improve start and acceleration performance.

## 公開実用平成 1─ 114328

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

#### ◎ 公開実用新案公報(U)

平1-114328 母公開 平成1年(1989)8月1日

@Int. Cl.⁴ B 60 K B 60 T F 16 H 16 H

庁内整理番号

8108-3D 8108-3D -7615-3D -7331-3] 7331-3]客査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

機械式自動変速機の変速制御装置 図考案の名称

識別配号

②実 頭 昭63-9922

②出 頭 昭63(1988)1月28日

東京都日野市日野台3丁目1番地1 日野自動車工業株式

会社内

日野自動車工案株式会 ⑦出 顋 人

東京都日野市日野台3丁目1番地1

弁理士 須田 正義 四代 理 人

1. 考案の名称

機械式自動変速機の変速制御装置

2. 実用新案登録請求の範囲

機械式・アクチュータを強が、アクチュータを強が、アクチュータを強が、アクチュータを強が、アクケッカーを対が、アクケッカーを対が、アクケッカーをシンクを出て、アクケッカーをシンクを出て、アクケッカーが、カララ変を変が、アクケッカーが、カララ変を強くないが、クララを強が、アクケッカーが、カララ変を対して、カララを強が、アクケッカーが、カーとを運が、アクケッカーが、カーとを連び、アクシックを対が、カーのでは、カ

プレーキペダルの作動状況を検出するプレーキ

367



センサを備え、前記ブレーキセンサがグレーキの作動を検出した後、前記車速センサがグレーキを検出し、かつ前記ブレーキセンサがブレーキの検出するとき、前記コントローラはクラチを遮断して現時の変速ギヤ位置を発進ギヤ位で速するように前記クラッチュエータを制御することを特徴とする機械式自動変速機の変速制御装置。

#### 3. 考案の詳細な説明

[産業上の利用分野]

木考案は車両の条件により自動的に適正な変速 ギヤ位置を選択制御する機械式自動変速機の変速 制御装置に関するものである。

#### [従来の技術]

従来、この種の変速制御装置では、アクセルペダルが踏込まれると初めて変速動作を行うようになっている。すなわち第3図に示すように、アクセルペダルの踏込み位置がエンジンのアイドル回転の状態にあるとき、換言すればアクセルペダルが踏まれていないときには変速動作は行われず、



アクセルペダルが踏まれると、適正なギャ位置を 定めた変速マップをルックアップし、 現時のギャ 位置が適正なギャ位置か否か比較し、適正なギャ 位置でない場合には変速動作を行っている。

一方、高中速走行から一時停止した後再発進する場合には、アクセルペダルが戻され車速が一定速度(例えば15km/b)まで低下すると、変速制御装置はクラッチを遮断しギヤ位置を中立位置にする。ブレーキペダルが踏まれて車両が停止した後、ブレーキペダルが戻されアクセルペダルがほびいると、変速制御装置はギヤ位置を発進すな置に切換え、クラッチを接続して車両を発進させる。

[考案が解決しようとする課題]

このため上記変速制御装置では、アクセルペダルを踏んでからギャ位置が発進ギャ位置に切換わりクラッチが接続されるため、車両の発進がもたつく不具合があった。

本考案の目的は、一時停止後、再発進するとき早目に変速操作を行い、発進加速性能を向上し得



る機械式自動変速機の変速制御装置を提供することにある。

[課題を解決するための手段]

上記目的を達成するために、本考案の機械式自 動変速機の変速制御装置は、機械式自動変速機の ギャ位置を変える変速アクチュエータと、噴射ポ ンプの噴射量を調整する燃料調整用アクチュエー タと、クラッチを断接するクラッチアクチュエー タと、前記変速機の変速操作を行うためのセレク タレバーの変速操作位置を検出するセレクタレ バーセンサと、アクセルペダルのペダルストロー クを検出するアクセルセンサと、前記噴射ポンプ のラック位置センサと、前記クラッチアクチュ エータのストロークを検出するクラッチセンサ と、エンジンの回転センサと、前記変速機のギャ 位置センサと、車速センサと、前記複数のセンサ の各出力に基づいて適正な運転条件となるように 前記複数のアクチュエータを制御するコントロー ラとを備える。

本考案の特徴ある構成は、ブレーキペダルの作

動状況を検出するブレーキセンサを備え、前記ブレーキセンサがブレーキの作動を検出した後、前記車速センサが停止速度を検出し、かつ前記ブレーキセンサがブレーキの解放を検出するとき、前記コントローラはクラッチを遮断して現時の変速ギヤ位置を発進ギヤ位置に変速するように前記クラッチアクチュエータ及び前記変速アクチュエータを制御するところにある。

#### [作用]

車両が停止した後、プレーキペダルが戻されると、変速制御装置は早目に変速ギヤ位置を発進ギャ位置に変速するため、アクセルペダルを踏むと車両は遅滞なく発進する。

#### [実施例]

次に本考案の一実施例を図面に基づいて詳しく説明する。

第1図に示すように、本実施例の機械式自動変速機の変速制御装置はマイクロコンピュータからなるコントローラ1を備える。コントローラ1にはセレクタレバーセンサ2とアクセルセンサ3と



ラック位置センサ 4 とクラッチセンサ 5 と回転センサ 6 とギャ位置センサ 7 と車速センサ 8 とブレーキセンサ 9 の各出力が接続される。

噴射ポンプ13のロードレバー16にはこのレバーの位置を移動させるリニアソレノイドからなる燃料調整用アクチュエータ17が設けられる。



アクチュエータ 1 7 にはコントローラ 1 の制御出力が接続される。クラッチ 1 4 にはクラッチを断接するエア シリンダからなる クラッチアクチュエータ 1 8 が設けられる。変速機 1 0 には変速ギヤをシフト及びセレクトするエアシリンダからなる変速アクチュエータ 1 9 が設けられる。

アクチュエータ18及び19にはそれぞれ接続で21及び22を介してエアタンク23気用配かりのよう。またアクチュエータ18にはそれを配合。またアクチュエア配管21にはそれを配合のは、エア配管21にはそれを配合のは、エア配管24にはそれを発送される。これのの制み25つの制造をおいて、で30が全にはないからの間が出る。これらの間が出る。これらの制み25つの制をである。これらの間が出る。これらの制み25つの対したのがよりのではあり、電磁弁25つは最大のオリフィス径を有する。

コントローラ1には車両の経済走行や円滑な走



行を達成するための適正な変速ギヤ位置、燃料噴射量等の運転条件を記憶したメモリが内蔵されていて、コントローラ1は上記センサ2~9の各出力信号が入力すると、あらかじめ設定された選正なガラムに基づいてメモリに記憶された適正な運転条件となるようによっている。

本考案の特徴ある構成は、一時停止時にアクセルセンサ3、車速センサ8及びプレーキセンサ9の各検出信号に応じてコントローラ1がクラッチアクチュエータ18及び変速アクチュエータ19を作動し、早目に発進準備をしておくところにある。

このように構成された変速制御装置の特徴ある動作を第2図のフローチャートに基づいて説明する。

まずアクセルペダル12が戻され、アクセルセンサ3がアイドルストロークを検出したときに車速センサ8が所定の車速、例えば15km/h を越える車速を検出するときには、次にアクセルペダル

1 2 が踏まれるのを待つ。車速が15km/h 以りクチュエータ 1 8 によりりクチュエータ 1 8 により 9 がよいで 7 クチュエータ 1 7 で 変速 7 クチュエータ 1 7 で 変速 7 クチュエータ 1 7 で 変速 7 クチュエータ 8 により 7 クチュエータ 8 が 7 クモンサ 9 が 7 か 2 が 4 で 2 で 4 で 4 で 4 で 5 で 7 クチュアクチュンサ 9 が 7 で 2 が 8 で 7 クチュエータ 1 8 により クラッチ 1 4 を 発進させる・

なお、上記説明では減速時にギヤ位置を中立に する所定の車速として15km/b を示したが、この 数値は一例であって、本考案の所定の車速はこれ に限るものではない。

また、プレーキペダルのペダルストロークを検出するプレーキセンサの例を示したが、プレーキの流体圧を検出するブレーキセンサでもよい。



#### [考案の効果]

以上述べたように、本考案によれば、プレーキが作動して一時停止した後にプレーキペダルが戻されると、ギヤ位置が発進ギヤ位置に変速され、早目に発進態勢になるため、次にアクセルペダルが踏まれれば、直ちに車両は発進状態になり速やかに加速される。これにより、再発進時の変速時間が短縮され、発進加速性能を向上させることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案一実施例機械式自動変速機の変 速制御装置の構成図。

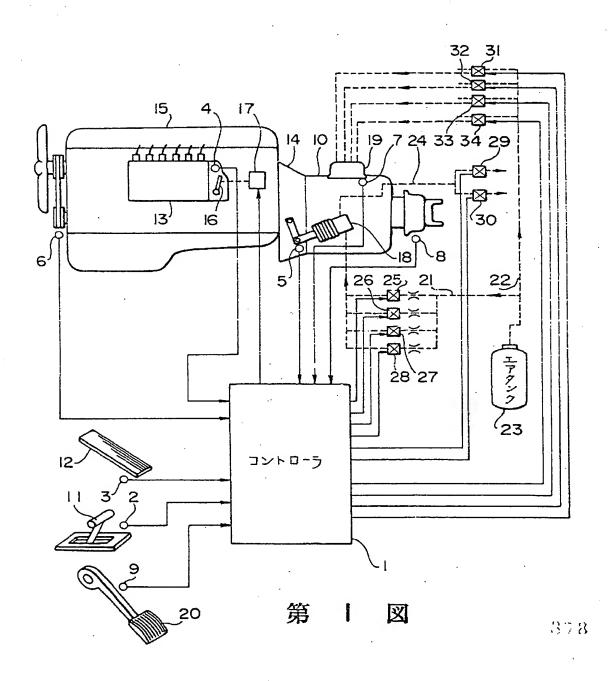
第2図はその変速制御装置の動作を示すフロー チャート・

第3図は従来の変速制御装置の動作を示すフローチャート。

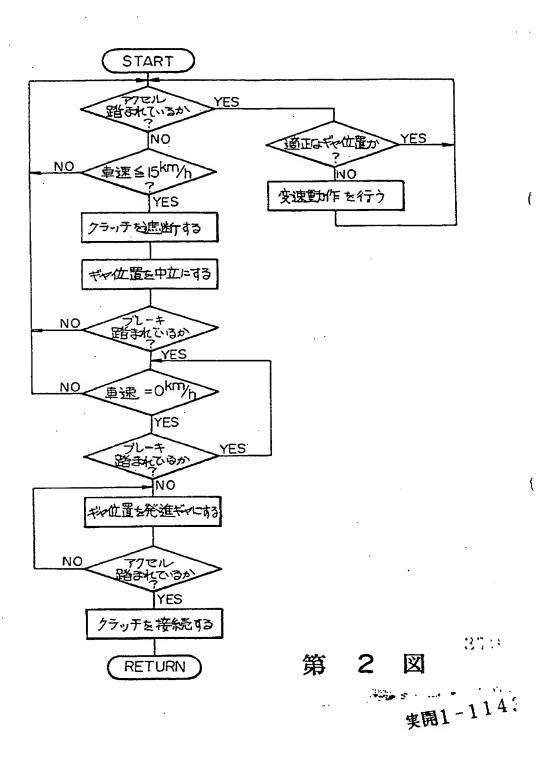
1:コントローラ、2:セレクタレバーセンサ、3:アクセルセンサ、4:ラック位置センサ、5:クラッチセンサ、6:回転センサ、7:ギャ位置センサ、8:車速センサ、9:ブレーキ

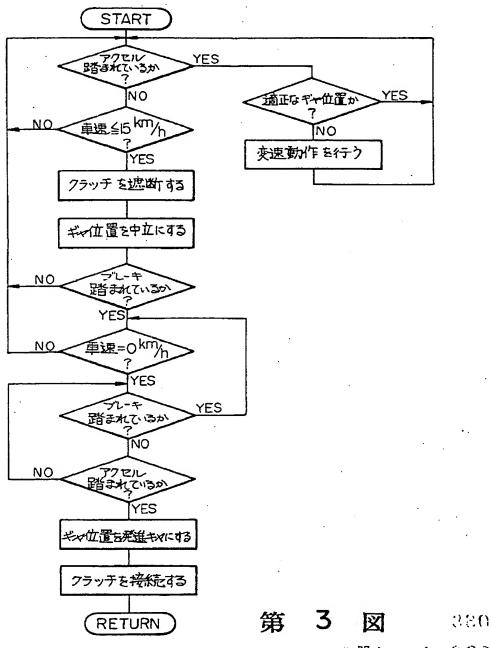
センサ、 1 0 : 機械式自動変速機、 1 1 : セレクタレバー、 1 2 : アクセルペダル、 1 3 : 噴射ポンプ、 1 4 : クラッチ、 1 5 : エンジン、 1 7 : 燃料調整用アクチュエータ、 1 8 : クラッチアクチュエータ、 1 9 : 変速アクチュエータ、 2 0 : ブレーキペダル。

実用新案登録出願人 日野自動車工業株式会社 代理人弁理士 須 田 正 義明語



実開1-114378





电凯1-114328

实院 1 - A 14328 出願人 日野自動車工業株式会社 代理人 弁理士 須田正書

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT *
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.